

(5) 課題解決に向けた地域の取り組み

区民会議で解決に向けた取り組みについて議論を行った、「安全・安心のきずなづくり」に向けてさっそく解決に向けた取り組みを実践しましたのでご紹介します。

■中原区子育てサロン

中原区子育て支援推進実行委員会では、同会委員の松本委員が中心となり、子育て世代へ防災情報などを届けるため、子育て中の保護者と子どもが集う、子育てサロンにおいて、「防災紙芝居」を実施しました。「子育てサロンとどろき」に集まった、約10組の親子が興味を持って防災について学べるように「防災紙芝居」を使い、日ごろの備えの重要性やいざという時の心構えについて呼びかけました。



■中原区商店街連合会

中原区商店街連合会では、地域の人が多く集まる商店街の場において、防災についてどのような備えや心構えが必要か、同会の会合で「ぼうさい出前講座」を行いました。同会副会長で区民会議委員である川連委員の呼びかけにより実現したものです。

地域の人が多く集まり商店街という場において、防災に対する備えについて日ごろから関心を持ち、防災に対する意識を高めることが必要だと認識を深めました。



■中原区市民提案型事業

地域の課題を行政と協働し、地域自らが解決する事を目的に実施される中原区市民提案型事業において、若い世代の防災意識をいかに向上させるかを課題として、「防災意識向上事業」を実施する団体の募集を行いました。

NPO法人カワサキミュージックキャストから、中原区内で行われるイベントで、防災をテーマとした紙芝居の実演を行う事業の提案があり採用されました。今回の提案は、単純に紙芝居を行うだけではなく、音楽の生演奏をバックに、この事業のために製作された防災紙芝居を子ども達に提供するという、「音楽のまち・かわさき」にふさわしい事業でした。区民会議発の新たな事業の展開が期待されます。



区民会議メモ②

「提案型事業」とは？

中原区では、地域社会の抱える課題を解決するため、地域の団体から地域の課題とその解決方法の提案を受け、地域の団体と行政が協働で課題解決に向けた取組を行うことを目的に「中原区市民提案型事業」を実施しています。

この事業では、2つの方法で提案・実施団体を募集します。

A：区民が区民の視点で地域の課題を発見し、行政と協働で解決を図る手法を提案し、協働型事業として実施するもの

B：区民会議など、地域の課題について審議・検討を進めている組織から提案された地域課題に基づき考えられた解決手法について、実践的な解決に向けた活動をする団体を募集するもの

<これまでの事業例>

- なかはらオープンカフェ事業（NPO法人カワサキミュージックキャスト）

地域で暮らす人々の交流を図ることを目的とし、気軽に集うことのできる場としてオープンカフェを実施しました。

- 区内観光ガイド育成推進事業(中原歴史散歩の会)

区内に存在する旧所・名跡や再開発に代表される新しいまちを学び区の魅力発信を行いました。

- 多摩川の自然を安全に楽しむための講座事業(とどろき水辺の楽校)

多摩川に親しみを持ってもらい、身近に楽しむ手段として、カヌー体験を通じて川及び自然の中での安全講座を開催しました。



▲多摩川の自然を安全に楽しむための講座